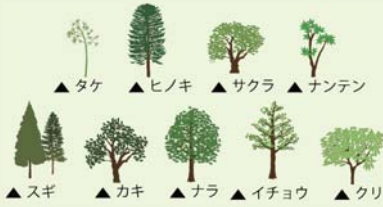


木々と歩く寺村 小田の道

—：遍路道



至田渡

吉野川トンネル

お遍路さん休憩所

吉野川自治会館

民家の石垣に生える桜の古木

1 三社神社のスギ



かつて3カ所の畑に祀られていた神様を1つにまとめた三社神社は、家内安全・五穀豊穡を祈願し、毎年秋の第1日曜日には人々が集う伝統行事「おこもり」が行われます。神社に向かう険しい山道にはスギが多く立ち並びます。本殿の正面にある3本のスギは推定樹齢100年です。

2 小御山天満神社の梅



学問の神、菅原道真公を祀る小御山天満神社（小御山さん）には「飛梅伝説」に由来する梅の御神木があります。合格祈願祭には、地域内外の受験生が参拝に訪れます。初春に咲く梅の花が寺村の人々に春の到来を告げます。

3 清盛寺の八房の梅



清盛寺には平家の落人伝説があり、平清盛の五女、登貴姫にまつわる梅の古木があります。この梅は、登貴姫を供養した際に種が播かれたものとして伝わり、八重咲きにちなんで「八房の梅」と名付けられました。また、姿形が帆を張った舟のように見えるため「舟形梅」とも呼ばれています。

4 新田神社の大イチョウ



新田神社には推定樹齢200～300年とされる対の大イチョウがあり、鳥居のすぐ右側に雄株、奥側に雌株です。隣り合った2本が種子を交配するため、毎年多くの銀杏が実り、現在も樹勢は良好です。10月の秋祭りには、大イチョウのあるこの境内に人々が集い、牛鬼や神輿、獅子舞が奉納されます。

5 子供の遊び場エノキ淵



小田川に架かる榎橋の近くには「エノキ淵」の愛称で親しまれる淵があります。その岸边にはエノキが群生しており、釣りや水遊び、秘密基地など子供の遊び場がありました。このエノキ淵が榎橋の名前の由来とされています。

6 八坂神社の幻のマツと愛宕の大ヒノキ

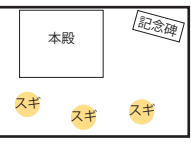


八坂神社の境内にはかつて長い枝をもつマツがありました。子供が座れるほど太い枝で、離れた鳥居に届くほどの長さでしたが、周辺地域の安全を確保するため切られました。今では切り株のみが残り、その姿は本殿の絵馬で確認できます。

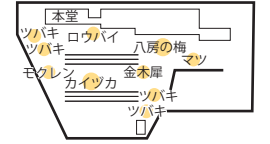


八坂神社の裏には樹高約30m、推定樹齢300年を超える「愛宕の大ヒノキ」があります。1997年に旧小田町の天然記念物に指定されました。この大ヒノキは斜面地に位置しているため、大きく広がった枝と段状に伸びた根でバランスをとりながら数百年かけて成長しました。

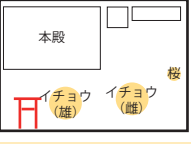
A 三社神社



B 清盛寺



C 新田神社



D 八坂神社



集落景観を一望



1 三社神社

大師堂

2 小御山天満神社

寺村自治会館



秋葉堂



日切堂

榎橋

小田自治会館

町村商店街

道の駅 小田の郷せせらぎ

内子町役場 小田支所

阿弥陀堂



民家裏の柿の古木 (推定樹齢100年以上)



体育館にある「太田城鳥瞰図」(1585年頃)



0m 100m

徒歩約2分

至南山

至日野川

至本川

至立石